

令和元年度第1回箕面市廃棄物減量等推進審議会 会議要録

開催日時	令和元年7月23日(火) 10:00～12:00
開催場所	箕面市役所 本館3階 委員会室
出席委員数	8名
欠席委員数	4名
傍聴者数	2名

次第1 箕面市廃棄物減量等推進審議会委員の選任について

- ・辞令交付
- ・自己紹介

次第2 箕面市廃棄物減量等推進審議会会長及び会長代理指名選出

- ・会長 大阪学院大学三輪委員（委員推薦）
- ・会長代理 京都精華大学田村委員（会長推薦）

	<h3>次第3 箕面市廃棄物減量等推進審議会の概要</h3>
事務局	<p>【資料1】 【資料2】の説明</p>
会長	<p>資料1については、本審議会が国の法律のもと、また条例のもと設置され、廃棄物減量等の推進を目的とした重点的な項目について議論されるということです。</p> <p>資料2については、これまでに審議されてきた内容を記載したものです。何かご意見ご質問はありますか。</p>
会長	<p>資料2の内容を簡潔に説明していただけないか。どのような流れで審議されてきたのか初めての委員もおられるのでお願いします。</p>
事務局	<p>平成25年度審議会から順に重点的な内容の概要を説明</p>
	<h3>次第3 箕面市一般廃棄物処理計画の概要</h3>
事務局	<p>【資料3】関連で【報告1号】の説明</p>

会長	事務局より資料3、報告1と併せて令和元年度実施計画の説明があったが、それについてご意見ご質問はありますか。
委員	ペットボトルの処理について、処理が困難なペットボトルなどは東南アジアなどに運ばれ処理されているが、箕面市では市の予定処理量を超えたペットボトルをどのように処理しているのですか。
会長	年々増加しているペットボトルの量が適切に処理をされているのか？と言った質問でよろしいですか。では、回収されているペットボトルの処理の流れなど詳しい内容の説明をお願いします。
事務局	<p>まず、量の説明からさせていただく。箕面市廃棄物行政の概要P22にペットボトルの実績推移として回収量と資源化量の記載があります。箕面市の排出方法では、ペットボトルのキャップとラベルを剥がし、中を水洗いするよう市民にお願いし、その協力の結果、比較的良品なペットボトルであることから現在は売却できている状況であります。</p> <p>平成29年度実績で、トンあたり29,970円で売却できており、このように再生資源となる環境が続く限り、市民の協力を得つつ売却を続けたいと考えています。</p>
会長	回収量と資源化量に10トン程度の差が生じているが、これは焼却しているのですか。
事務局	10トンの差は、ペットボトルの中身に異物が混入していたり、リサイクル不可な品目などのもので、これらは焼却処理せざるを得ない状況となります。
会長	箕面市内で発生するペットボトルの全量を把握していますか。
事務局	市が把握している量は市が回収する戸別回収や拠点回収量のみで、市が回収しない拠点回収などの量までは把握しきれいていません。
委員	以前、ペットボトルとキャップを分別して排出した時期があったと記憶するが、今はキャップも燃えるごみで排出するようになっている。キャップはリサイクルできないのですか。
事務局	以前、市内の一部をモデル地区に指定しプラスチックを回収した時期もあったが、現在はごみを燃やすためのコークス(燃料)の一部として利用することになっています。

委員	<p>令和元年度推計見込量及び目標値の事業系ビンカンの量35.53トンは平成30年度実績より減少しているが、推計見込量はどのように算出しているのですか。</p>
事務局	<p>平成30年度実績量は平成29年度実績量と比較し5%減となっています。令和元年推計見込量は、その変動比率5%を平成30年度実績量37.4トンに乗じた値としています。</p>
	<p>次第4 審議会議題 報告2号 スマートホン向け情報アプリの発信について</p>
事務局	<p>【報告2号】の説明</p>
会長	<p>スマートフォンを使いこなす方は、箕面市のごみ情報が手軽に入手できるとのことですが、既に利用している方はおられますか。(市民委員が利用) もし、感想や周りの方からの意見など何かあればお願いします。</p>
委員	<p>前日や当日に好きな時間にプッシュ通知を受けることができ、生活スタイルに合わせやすい。燃えるごみは日常的に定着し覚えているが、ビンカンや不燃ごみは、周囲が出しているのを見て「今日がそのごみの日なのか」と気づくことがあり、気づくのが遅い時は出すのをあきらめることもしばしばあった。プッシュ通知の知らせがくることでこのようなことが無くなり助かっています。</p>
会長	<p>発信して一ヶ月ではあるが、利用者から様々な問い合わせや意見などが届いているのですか。</p>
事務局	<p>問い合わせについては、利用される方がスマートフォンの操作に慣れているのか、特に目立った問い合わせは無い状況です。問い合わせのなかには、先ほどご意見でもあったとおり、「便利です」といった内容で、特に利用でお困りの内容は届いていません。</p>
会長	<p>まだ一ヶ月ですが、普及率はどのような状況ですか。</p>
事務局	<p>ダウンロード状況を把握しており、箕面市14万人近い人口のうち3000人ほどダウンロードしている状況となっています。なお、ダウンロード数は日に日に増加傾向です。</p>
委員	<p>このアプリのことやダウンロードのやり方などの情報発信はどのように行って</p>

	<p>いますか。</p>
事務局	<p>市の広報誌「もみじだより」や市のホームページに掲載しています。ダウンロードについてもQRコードを載せているので、それを利用すれば簡単にダウンロードできます。</p>
委員	<p>ごみ情報と合わせて、ゆずるバスや天気予報など様々な状況機能があり、今後も情報量が増えると思う。「良いもの」を発信しているので、どのように市民の皆さんにこのアプリを広めていくのか検討してほしい。</p>
	<p>審議会議題 報告3 環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業について</p>
事務局	<p>【報告3号】の説明</p>
会長	<p>事務局からの説明に対してご意見ご質問はありますか。 実際にCO2はどのようにすれば減るのでしょうか。</p>
事務局	<p>箕面市ではごみを燃やした熱を利用して発電しています。今回の工事では発電量の増量、機械の省エネ対策などを組み合わせ、施設の総合的な消費電力削減によりCO2削減を図っています。</p>
会長	<p>工事の完成が令和2年度とのことだが、その間、2つの焼却炉を交互に運転しつつ、改修工事を進めると思いますが、1つの焼却炉で無理なく箕面市のごみを処理することが可能ですか。</p>
事務局	<p>改修工事期間中は、常に1つの焼却炉で運転することになります。箕面市のごみは1日平均110トンであり、1つの焼却で135トンのごみが処理できることから問題無く処理できると考えています。設備の定期保守などでどうしても2つの焼却炉を停止させることもありますが、その期間を極力抑え、処理に影響しないようスケジュール管理します。</p>
会長	<p>長期包括運営事業については、A社が行い、市はその管理監督、指導をするとのことなのでよろしくをお願いします。</p>
	<p>審議会議題 報告4号 北摂地域におけるマイバック等持参促進及びレジ袋削減に関する協定の締結について</p>

事務局	【報告4号】の説明
会長	かなり市民には身近な内容であります。事務局からの説明に対してご意見ご質問はありますか。
委員	マイバックに関しては、箕面市以外にも多方面で定着しつつあるが、まだまだレジ袋を無料で配布しているところがあります。
委員	マイバックを常に持参している。この働きは良いことではあるが、レジ袋は家庭のごみ箱に備えるなど重宝した反面もある。レジ袋無料配布を中止しても、常に家庭のごみ箱に袋を備える方には、百円均一店などで袋を購入することのも考えられ、ごみ削減への影響には意味が無いのではと思います。
委員	レジ袋無料配布中止は、平成30年6月より順次実施されているが、今現在全ての店舗が中止になっているのですか。
事務局	協定を締結する事業所や店舗は既に中止しています。協定を締結していない店舗は、これまでどおりレジ袋を配布しているところもあります。
委員	<p>このような取り組みが1年以上経過しているため、今後も定着してほしい。レジ袋を無料で配布する店舗、配布しない店舗がまちまちだとこの取り組みがしまらないものに思えるので協定店舗の促進をお願いします。</p> <p>また、マイバックの持参率も79.6%と箕面市民の協力により既に達成に近い数字になっていることは素晴らしいこと。マイバック持参のキャンペーンイベントで「ゆずる」を活用するなど、市民のマイバックの意識を更に高騰させる働きはされていますか。</p>
事務局	<p>北摂7市3町で定期的にレジ袋削減に向けた会議を開催しています。そのなかで、各市が主催するレジ袋削減、マイバックキャンペーンを各市の合同イベントとして実施しています。</p> <p>また、その会議のなかで、先ほどご意見のあったレジ袋が無くなることでの「ごみ袋の内袋問題」、「協定できていない店舗の取扱い」について論議しています。</p> <p>なお、北摂7市3町で開催する合同イベント以外にも箕面市独自の手法を考えていかなければならないことは理解しており、今後検討していく予定です。</p>
委員	箕面市の「スーパーいかり」は、独自の紙袋を配布し、買い物客を誘致している。このような働きに便乗し、箕面市独自のマイバックキャンペーンを考えて

	<p>はどうか。</p>
会長	<p>北摂7市3町のこのような働きには環境省も一目置いており、北摂の連携の取れた素晴らしい活動と思います。箕面市は6事業所9店舗とまだまだ動きも活発になると思います。国も海洋汚染問題などから廃プラスチックに関しては大きく意識していることもあり、今後の対応に注視していきたいと思います。</p>
	<p>審議会議題 案件1号 災害等における一般廃棄物の処理について</p>
事務局	<p>【案件1号】の説明</p>
会長	<p>事務局より説明のありました内容についてご意見ご質問はありませんか。</p> <p>災害が頻繁に発生する時代となり、災害が発生した時にはメディアでも取りあげられているように、大量の災害ごみが発生することは皆さんもご存じかと思えます。それに備えて大量の災害ごみをどのように処理していくのか、大阪府と連携し市町村の役割のもと処理していくことが必要です。</p>
委員	<p>この案件について本審議会で進めていくとのことですか。</p>
事務局	<p>審議会の案件で挙げていくこととなったので、事務局で素案を作成し、審議会で様々なご意見をいただくことでより精度の高いものを策定したいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
会長	<p>事務局の素案をもとに様々な意見を取り入れ策定していくということですが、本策定はいつ頃を予定しているのですか。</p>
事務局	<p>1年程度、素案に対して意見交換し、早ければ来年夏に策定したいと考えていますが、まだ確定ではありません。</p>
委員	<p>本案件はとても重要な内容である。災害に関係する部局などの意見も確認する必要があるため、その調整は事務局でお願いします。</p> <p>災害ごみは小さな災害でも発生し、昨年度の地震や台風の影響だけでも粗大ごみが33%増加した経過がある。審議会での意見も重要と考えています。</p>
事務局	<p>このような災害廃棄物の処理に伴う計画は、大阪府内でも、大阪市、堺市、豊中市、守口市が既に作成している状況です。</p>

会長	<p>案件1号に「災害における廃棄物処理等に関する協定」「災害発生時における避難所内の清掃等の協力に関する協定」と既に結ばれている協定があるがどのような内容ですか。</p>
事務局	<p>「災害における廃棄物処理等に関する協定」は、災害が発生した場合には市だけの力でなく、市内の民間企業の力をお借りし、協働した復旧作業を行うための協定になっており、箕面市清掃協議会と協定締結しています。</p> <p>「災害発生時における避難所内の清掃等の協力に関する協定」は、市が災害復旧に従事することで手薄となる避難所内の清掃やごみの分別などの業務を市内事業所の力をお借りする協定となっています。</p>
会長	<p>本件について、色々な意見があると思うので、審議会以外でも気が付いたことは事務局に問い合わせてよいでしょうか。</p>
事務局	<p>結構です。</p>
<p>審議会議題 その他 廃プラスチックの処理について</p>	
事務局	<p>【その他】の説明</p>
会長	<p>事務局より説明のありました内容についてご意見ご質問はありませんか。</p>
委員	<p>産業廃棄物の廃プラスチックを一般廃棄物の処理施設で支援するといった国の考えであるが、法律上なかなか上手くいかないのでは感じています。</p>
委員	<p>廃プラスチック問題は大きい問題だと思う。数年前の審議会ではペットボトルの回収方法をどのようにするのか、様々な意見のもと審議し決定した経過がある。国や大阪府の動向に注視していきたい。</p>
会長	<p>廃棄物問題はとても難しい問題であるが、本日の資料を再度読んでいただくことで一層理解を深めていただきたい。</p>
<p><u>次回開催予定について</u></p>	
事務局	<p>次回開催は、年明け2月頃の予定となっています。案件は、本日の案件1号災害廃棄物における一般廃棄物の処理について、本会議のご意見を参考に事務局で素案を作成し、案件としてうかがう予定です。</p> <p>また、令和2年度廃棄物処理実施計画の見込量及び目標値を決定したい</p>

と思います。

次回開催までに必要な報告が生じた場合には、本審議会の報告案件として説明します。